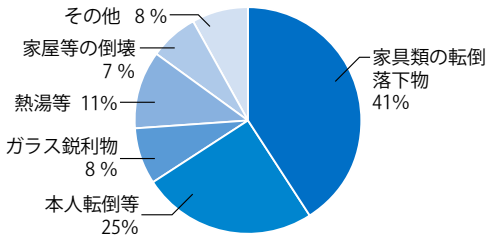




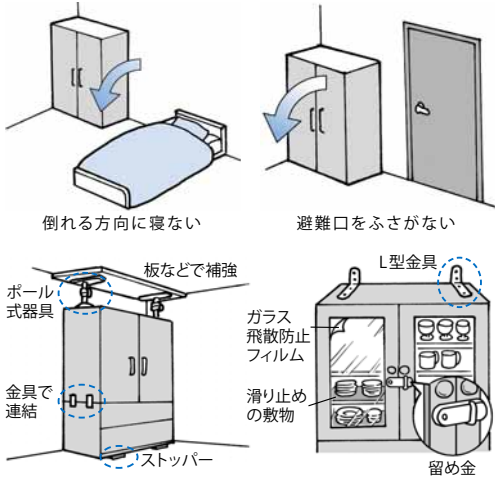
●家具の転倒や落下による負傷が多い

【新潟県中越地震での負傷原因】



(出典：東京消防庁による平成16年調査結果)

●家具の安全対策をしよう



※突っ張り棒などの固定器具を取り付けるには、壁や天井の強度が必要です。工務店など専門業者に相談してください。

東日本大震災の余震や誘発地震と考えられる揺れが、今も日本各地で発生しています。政府や地震の研究機関から、今後の大きな地震の発生予測が発表されていますが、現在の知見で

地震から身を守るためには、家具の配置や固定がとても重要。本棚やたんす、食器棚、冷蔵庫、テレビなど、家の中の重たい家具や家電の置き方

地震の発生自体を防ぐことはできませんが、地震が起きたときの被害を少しでも減らすため、日頃からの備えを怠らないように、みんなで心掛けましょう。

しろっぴーノート

地震への備えを見直そう

東日本大震災から1年が経過します。一日も早い被災地の復興を願うとともに、地震に対する身の回りの備えを、この機会に見直しましょう。



は、いつ、どこで、どのような地震が発生するかを正確に予知することはできません。普段から、地震の備えを欠かさないことが大切です。平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、多くの方が家屋や家具の倒壊によって亡くなりました。また、平成16年の新潟県中越地震では、負傷の約4割は、固定していない家具の転倒や落下物が原因でした(左図参照)。

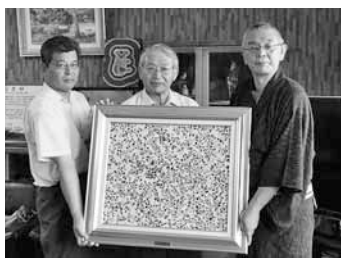
地震の発生自体を防ぐことはできませんが、地震が起きたときの被害を少しでも減らすため、日頃からの備えを怠らないように、みんなで心掛けましょう。

宮城県白石市への支援

東日本大震災では、白石区と縁の深い宮城県白石市も、大きな被害を受けました。

白石区ふるさとまつりなどの行事で交流を続けている同市を支援するため、まつりを主催する白石区ふるさと会では、被災された方々へのお見舞いとして義援金を募り、寄せられた46万3千493円を白石市に送りました。

また、昨年のまつり会場では、来場した区民の皆さんと一緒にタイトルを制作。「千の願い」と名付けられた作品は、同会の武藤征一会長と堀口洋一白石区長が、同市の風間康静市長に届けました。現在、白石市役所の玄関に飾られています。



▲(右から) 風間白石市長、武藤会長、堀口白石区長

広告

